

---

# 恋人たち

川崎ゆきお

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

恋人たち

### 【Nコード】

N1978M

### 【作者名】

川崎ゆきお

### 【あらすじ】

吉田辰彦。三十五歳独身。結婚歴なし。低学年、低収入、低身長。

吉田辰彦。三十五歳独身。結婚歴なし。低学年、低収入、低身長。八幡画廊の植草は吉田のプロフィールからそこだけ抜き出した。そして搬入された絵をしみじみとした気持ちで眺めた。

八幡画廊は貸し画廊で、よほどレベルが低い作品でない限り貸している。お金を払ってくれば画家はよいお客様なのだ。

しかし最近普通の絵を書く人が少なくなり、レベルは年々落ちていた。吉田辰彦の絵はその意味でギリギリのところだった。

おそらく見に来る人はいないだろう。それは分かっているのだが、貸したほうが収入になる。

翌日から吉田辰彦の個展が始まった。予想通り客は来ていない。

「苦労してきたんだろうねえ」

画廊の真ん中でポツリと座っている吉田に植草が声をかける。

「道楽ですよ」

「あ、そう」

「好きなんだね、絵が」

「まあ」

「こつという絵って、流行らないんだけど、よく続けてるね」

「そうですか」

「感心するよ」

「他に能がないので」

「そんなことないだろ」

「本当ですよ」

「やっても仕方がないってことかな」

「ええ、やればできかもしれませんが、こつちのほうは楽なんで」

「欲がないんだ」

「この絵も売れっこないです。若いころは賞に出したんですけどね。さっぱりです」

「この絵じゃ、駄目でしょ」

「その通りです」

そこへ一人の女性客が入って来た。二人は黙った。近くのO.L.だろうか。すーと一覽し、立ち去った。

「何でしょうね？」

「あなたの個展を見に来た客じゃないか」

「そんな冗談を」

「いいねえ、絵かきさんは。ああいった女性と、こういうところで知り合える」

「そんな冗談を。今までそんなことは一度も…」

植草は、その通りだと思った。

吉田辰彦が書く人物画はすべて女性で、彼の恋人たちなのだ。いずれも現実にはいない人たちだった。

植草はまたしみじみとした。

了

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1978m/>

---

恋人たち

2010年10月11日07時12分発行